



オムツ  
おっぱい

あーっ

ん?  
なんだって?

成人向けCG集  
基本CG11枚  
本編210枚

精液、舐めとってくれ

ブルブル

オ

うの  
ココ  
々々

あ  
あ  
あ

弱みき握って  
やりたい  
放題!

妹の親友がムカつく奴なので

強制  
こっくん  
特濃  
中出し  
アナル  
攻めで  
復讐  
した話



上野 有紗 (うえの ありさ)

162cm

B91/W59/H93 (Gカップ)

主人公の妹の親友で  
美人なだけでなく巨乳でもある女の子♡

ニートの主人公のことは大嫌いで、  
面と向かって悪口を言うことがあります。

みんなには内緒にしていますが  
オナニーは頻繁にしています♡  
ただし、セックスはしたことがなく、  
大切な人に処女を捧げたいと考えています。

ガチャ

あっ  
お兄ちゃん、ただいま!

…おかえり

あはは  
今起きた感じ?

メ

ああ  
今日も一日中  
家にいるだけだからな

真面目に学校に通っている妹とは違い  
俺は家に引きこもっている。

大学に馴染めなかつた俺は  
学校に行けなくなり、  
中退することにした。

その後は実家の自分の部屋で  
自由気ままな生活をしている。

そんな俺に対して妹の千明はちあき  
昔と変わらない雰囲気<sup>ちあき</sup>で接してくれる。

あたしたちはね  
これから合唱コンクールの  
打ち合わせをするんだ

ね、ありさ  
有紗！

死角になつていた場所から  
一人の少女が現れた。



！！！！  
こんにちは、お兄さん  
今日もお邪魔しますね

この子は有紗って言うの…  
って、もう紹介済みか

ああ  
よく覚えてるよ

妹の親友で同じクラスであることや  
学校で一番モテてることも知ってる  
この少女のことはとてもよく覚えてらる。

できるだけ静かにするけど  
うるさかったら、ごめんね？

まあ

気にするな  
それじゃ

そう言っつて二人に背を向けて  
俺は自分の部屋に戻る。

心臓の鼓動が速くなっている  
嫌いな相手を見るとこうなってしまうのだ。

ドドドド  
ドドドド

自分の部屋でゲームをしていた俺は  
小便をしたくなつたので部屋を出た  
すると――

……

ドキ

……

じいっ

妹の友人の有紗と出くわした  
偶然の遭遇に鼓動が速くなる。

もしかして  
お手洗いですが？

ああ…

はあ  
だったら、  
外でしてきてくれませんか？

あなたより先にトイレを使うのも  
あなたより後にトイレを使うのも  
私、死んでも嫌なので

というか、私がいる時は  
部屋から出てこないでください

気持ち悪い

...

...





有紗は俺のことを毛嫌いしている  
妹がいる時は隠しているが  
二人きりの時はこうやって俺を  
バカにしてくるのだった。

……ここは俺の家だぞ？

はあ  
違いますよ  
千明のご両親の家です

あなたのようなゴミは  
外に捨てられていくべきです

存在価値がないんですから  
当然ですよ

……

何も言い返せない俺を見て  
有紗は馬鹿にしたように笑った後  
トイレに入った。

鼓動がさらたに加速し、頭に血が上る  
もはや我慢の限界だった。

ズン

今まで我慢してきた分  
一生モノのトラウマが残るような  
復讐をしてやるう。

そう考えた俺は  
早速、行動を起こすこととした。

おっ  
気が利くねえ  
お兄ちゃん!

んっ  
どうぞー

おやつ、持ってきた  
ちよつと開けてくれ

ガ  
チャ

コンコン



足りなくなったら  
今度は自分で用意しろよ

うん  
ありがとう  
お兄ちゃん♡

おっ  
このコップはあたしのお  
気に入りに入りました！

ふふっ  
どれが干明のお気に入りに  
私も覚えちゃった

！！  
ありがとうございます  
お兄さん

有紗は口ではこう言っているものの  
彼女の雰囲気からは俺に対する  
嫌悪感が出ていた。

妹の部屋を出た俺は何度も深呼吸をする  
復讐の時間が近いことに興奮して  
落ち着いてなどはいられなかった。

ドクン!

おやつを届けてから一時間ほどして  
俺は再び妹の部屋へ行くことにした。

ドクン!

今度はノックをすることなく  
しかも、全裸で。

ガチャカニ

えっ

きゃああっ!  
な、なんで裸なんですか!

ビクッ

あまり大声を出すなよ  
妹が起きるだろ?

まあ

けっこう効き目の強い  
睡眠薬を飲ませたから  
簡単には起きないだろうけどな

ど、どうして...  
そんなことを?

ああ

これから妹を  
犯そうと思ってな

はあ?

そんなこと  
私がさせません

警察を呼びますよ?!

別にいいぞ  
どうせ俺の人生は  
終わってるからな

でもいいのか?  
お前が電話している間に  
俺は妹を犯すぞ?

この...

ザロ...

だから明日まで  
たっぷり妹を犯せる

ちなみにうちの両親なら  
今日は帰ってこないぞ

そう睨むなよ  
ほら、お前は帰っていいぞ

.....

待ってください



千明に手を出すのだけは…  
止めてください…

千明は…私にとって…

い  
お前に指図される  
筋合いはないんだけど？

…お願いです  
どうか…

…わかった  
じゃあ、こうしよう—

そう言つて俺は有紗にある提案をした  
すると彼女はその提案を  
一瞬、拒絶しかけたが受け入れた。

うっ……くっ……

お前ちちって性格はクソだけど  
いい乳ちちしてるよな

ゴ……ッ

む……ん……

う、うるさい……です

その強気が  
いつまで持つかな

もみもみ

「妹の代わりにお前が身体を差し出せ」  
俺は有紗にそう提案した。

そして、有紗はそれを受け入れた。

千明を…妹を身代わりにして  
こんなこととするなんて  
本当にあなたはクズですね

クズ…ね  
よくそんなことが言えるな

…どういう意味ですか？

クズ  
クズ

いや  
お前も人のことを言えないくらい  
クズだと思っけどな？

クズ  
クズ

はあ…？  
ど、どこがですか？

お前、妹のことが  
好きなんだろ？

びくつと有紗の身体が跳ねた  
それは凶星だったからだろう。

なっ  
何…言ってるんですか急に  
そんな…わけ……

妹の下着の匂いを嗅いで  
嬉しそうにしてたのを  
俺は知ってるぞ？

ゼクッ

っ！

それだけじゃない  
下着を盗んでることもな

たふたふ

アハハ

クニム

友人の持ち物を盗むなんて  
お前も相当クズだよな

で、でまかせを  
言わないでください

こっちには証拠があるんだよ  
この部屋には隠しカメラを  
置いてるからな

ギ  
ッ

む  
っ

む  
っ

ク  
ッ

た  
っ

た  
っ

なんで、そんな...

お前に復讐したい一心で  
何かネタを掴めないかと  
思ってたんだ

らっしん

そうしたらとんでもない  
ネタを見つけたってわけさ

もみもみ

ジュジュ

言葉も出ないみたいだな

むんぐん

まあ  
いや  
こっちはこっちで  
楽しませてもらおう

!!!

んっ……

ありがとな  
お前のことは嫌いだけど  
この胸はけっこう好きだぞ

いいね、なまちち生乳  
こうやって後ろから  
揉むのって憧れだったんだよ

ミッ  
ルッ

ミッ  
ルッ  
ミッ  
ルッ

たぶ  
たぶ

……

衣服を脱がせても  
挑発するようなことを言っても  
有紗は必死に耐えているだけだった。

こんなことされても  
黙って耐えるなんて

お前、よっぽど妹のことが  
好きなんだな

んっ

はあ

ブルブル

もみもみ

…黙れ

はは

強気なのは口だけで  
抵抗はできないみたいだな

きゅん

たぶたぶ



お前のケツに当たってるの  
何かわかるか？

そう言いながら俺はチ●コを  
有紗の尻に擦りつける。

グワグワッ

もみもみ

たぶたぶ

たぶたぶ

ぬちゃん

正解は我慢汁がたっぷりついた  
俺のチ●コだよ

……気持ち悪い

ふっ……

くっ……

んっ

だろーうな  
嫌いな相手の体液なんて  
気持ち悪いに決まってる

でもな、相手が嫌がるなら  
俺はそれくらい耐えられる

ぬちゅん

ぬちゅん

たぶ たぶ

まみ まみ

そう言つて俺は乳揉みを止めて  
有紗に床に寝転がるよう命じる。

んん

そして腰を持ち上げ、ストッキングを破り  
彼女のマ○コが見える状態にした。

カッ  
カッ

ちゅん  
ちよつと

ぐー

しゃん

まわ

まわ

んん

ぴちゅん

せしゅん

しゃん

なにをするのよ

クンニだよ、クンニ

知らないなら  
身体に教えてやる



あ、あ、あ

は、あ、あ

もみもみ

ん、ん、ん

ん、ん、ん

せ、せ、せ

ちゅるる

あ、

なんか濡れてきた

俺のテクもなかなか捨てたもんじゃない

そんな...わけ...

じゃあこれはなんだよ

干ホ

干ホ

有紗に水音みずおとを聞かせるように舌の動きを激しくする。



んんんうーっ！

ふーっ

たぶ たぶ

とびやう

たぶ たぶ

とろ

たぶ たぶ

俺は有紗の回の中に妹のパンツを入れてやることにした。

理由は大声を出せなくするためと妹のパンツを回に入れた有紗がどんな反応をするのかを見るためだ。

愛液が溢れてきた：こいつ妹のパンツにかなり興奮してるな

有紗の愛液を飲むのは気持ち悪かったがそれ以上に彼女が俺にクンニされていることを気持ち悪がっているので良しとした。

んんっ……ふう……ふう

ふーっ

ブルブル

ふーっ

はは

顔が赤くなってるぞ

たぶたぶ

たぶたぶ

うた

くうんっ……ふう、ふう

ぐわっ

じゅっ

ぐわっ

乳首も硬くなってるな  
イきそうなのか？

んんっ……んんっ！

ぐわっ

首を横に振る有紗  
だが彼女の身体が限界なのは  
童貞の俺でもなんとなくわかった。

じゅわんっ

しゃぶる、

一気にイかせてやる

しゃぶる

んっ、ふうー、ふーっ

俺のチ●コをこいつに  
ぶち込んでやろう

意外にクンニ疲れるし  
一回イかせてマ●コを  
ぐちよぐちよにしたら……

しゃぶる

もみもみ

ニニニニ……

ふーっ

たぶたぶ

しゃぶる





ツツツツ  
ツツツツ  
ツツツツ  
ツツツツ  
ツツツツ  
ツツツツ

ムムムム  
ムムムム  
ムムムム  
ムムムム  
ムムムム  
ムムムム



有紗の口に入ったパンツをとり  
感想を聞いてみようと思ったのだが――

大嫌いな男に  
イカされるのってどんな気分だ？

出しすぎだろお前  
気持ち悪いなあ…

うわっ  
これが潮吹きってやつか

びちゃ♡

びちゃ♡

びしょ…

ビュルッ

もわあぁ

ふーっ

ガッ

ニギッ

ふーっ

ニギッ…

ガッ

んっ…あ…

はーっ

はーっ

あ…あ…

はーっ

はーっ

どっっ♡  
どっっ♡

もみ  
もみ

ぴちゅっ

ちゅ  
ちゅ

ふうっ…

あごがけっこう疲れたし  
少し休憩したいところだが…

感想は聞かなくてもわかるな

有紗は絶頂の余韻もあって  
意識が飛びかけているようだ。

有紗の身体に力が入っていない状態は  
好都合だったので  
今の内に挿入させてもらおうと思った。

ちよ、ちよつと  
何するつもり？

まさか…やめて  
私、初めて…なんです

ぐぐぐ!!..

グググッ

ブルブル

有紗は首を横に振って  
必死に拒絶の意志を示す。

嫌なのはわかるが  
その場合、お前の代わりに  
妹を犯すことになるぞ？

お前は黙って股を開いてればいいんだよ

……

チ○コ

ニヤッ

ぬが

ニヤッ

ギョ...

俺は童貞なので中々うまく挿入することができなから。

挿入の仕方がわからなかった俺はとりあえず力任せにチ○コをマ○コに突き刺すようにしてみた。

すると――





死ぬ、クズ野郎



つい笑ってしまった  
こう言ってもらえると罪悪感を  
抱くことなくセックスすることができる。

俺は再び、有紗の回の中に  
妹のパンツを押し込み、  
黙らせることにした。

いざー  
これで俺も童貞卒業かあ  
なんか実感湧かないなあ

よしよし  
ピストンしてみるか！

ドキドキ

ふっ、ん…はあ

うーん

セックスって  
けっこう疲れるんだな

んんん…

たっん

ぬが

あ…ん

ぬが

ふー

たっん

んっ…んんんん

ぬが

運動不足の俺には  
ちよつと大変だ

んっ、ああ…んんん！

ぬが

でも  
お前が嫌そうにしてる姿を  
見れるなら

頑張って動いてやろうって  
気持ちになるな

打ち下ろすように突きたびに  
有紗はくぐもつた声を漏らす。



回の中のパンツをとってやるよ  
有紗は空気を求めるように  
パクパクと呼吸をした。

どうだ  
気持ちいいか？

…そんなわけ  
ないでしょ

はは  
だろうなw



じゅぽ♡

俺はけっこう  
気持ちいいぞ

まあ  
お前とのセックスってのは  
ちよつと不愉快だけどな

ぬぶ  
ぬぶ  
ぬぶ

だったら…  
今すぐやめろ

そういうわけにはいかない

ぬぶ

はぁ

はぁ

じゅぽ♡

はぁ

んっ

はぁ



今は自分の感情を無視して  
お前を不愉快にさせることだけを  
考えてるからな

ふんふん  
うん  
じゅぽ♡

精液をぶっかけて  
やるのもいいが

お前が一番  
嫌がりそうなのは…

ぬふ

ぐんぐん

有紗は俺がこれから  
何をするつもりなのか気付いたようだ。

ふー

はは

はは

ん

ぐんぐん

いん

4270

しゅぽ♡

ぽん

4270

ぶちゅん

お願い、中だけは  
やめて…ください

…うーん  
どうしようかなあ…

絶対に中出ししよw

ぶちゅん

ぽん

しゅぽ♡



4270

い

今けっこう  
気持ちいいところなんだ

や、やめて...

あ

は

ぬ

じゅぽ♡

ぶちゅん

ニニニ...

は

4270

お前も素直になれよ...ほら

感じているのを  
必死に隠そうとしていたの  
で、臆奥を突いてやることにした。

ははは 神



はは

お前も感じてるんだろ？  
バレバレだぞ

そんな...わけ...

ぶっちょっ

ぶっちょっ

ぶっちょっ

ぶっちょっ

ぶっちょっ

おのの

うん...うん...

うああ...

もっと早くしてやる

ぶっちょっ

ぶっちょっ

ぶっちょっ







ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ

そろそろ、イきそうだ

ぶ  
ぶ  
ぶ

ぐ  
ぐ  
ぐ

じっとしてろよ

有紗が逃げるように身体をよじるので  
両手でしっかりと押さえつける  
そして抽送を加速させた。

ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ







Helo!

しゃあ♥

だだだだだだだだ♥

はあ...はあ...

お前のマ●コ...  
締めつけすぎだろ

はー

お前の

ヒュッ

しゃん

トッ

んっ

んっ  
んっ

本当は中出しして  
ほしかったみたいだな

んっ

んっ

膣内が収縮し精液を  
子宮へと運んでいくのがよくわかる。

んっ

どこかで避妊薬でも  
買って飲めよな

本当に…出すなんて

ド  
ロ

妊娠なんかされたら  
俺が困る

ブル  
ブル

ふー

ギロ…

ギ  
ョ  
ッ

…死ね…クズ

まだまだ強気な様子にほっとした  
そういう態度を取られると  
しつかりと復讐してやるうと思える。

ふー…

んっ



ふー  
いやーたっぷり  
出したなあ

見てみる  
チ●コが精液と  
お前の潮でドロドロだ

ド●●●●

おれ  
する

そんなもの…  
見せないでよ

まあまあ  
そう遠慮するなっつて

はははは

んっ

んんんんっ



ちよっ  
ちよつと…何する気

近くで見てもらおうと  
思っ  
てな

ふっ

とっ

この続きは、本編でお楽しみください！！